

在宅介護向け新型ベッド 頭頸部角度の調整で誤嚥リスク低減

◎シーホネンス

誤嚥リスクを低減する在宅介護向けベッド「Emi(エミ)」を9月に発売。エミは、頭頸部を0～30度で調節できる「ADLポジション」をとることができ、誤嚥リスクを低減する。また同様に0～50度で調節できる「QOLポジション」は目線が前を向くためにコミュニケーションがとりやすい。

床ずれのリスクを低減できる「スイングバック機能」は、背上げ時に、背ボトムの支点が後ろにスイングすることで、仙骨が立った状態を作り、床ずれリス

ク軽減を図る。組み立て時の脚座の差し込み方向を縦・横と変えるだけで、ベッドの高さを変更できる。液晶手元スイッチは、液晶表示で、頭・背・足・高さすべての数値を表示し、在宅介護時に、医療従事者からの指示を忠実に再現できる。操作時には音声案内し、誤動作を防ぐ。

▽問い合わせ：06-6973-3471

